

財政事情

平成25年11月版

市では、「大網白里市財政事情の作成及び公表に関する条例」に基づき、皆さんから納めていただいた税金等がどのように使われたか、また、使う予定なのかを知っていただくために、『財政事情』を年2回(5月と11月)公表しています。今回は、平成24年度決算の概要と、平成25年度上半期(4月～9月)の収支状況、また、平成24年度の健全化判断比率と資金不足比率についてお知らせします。

財政課財政班 (70)0310

◆平成24年度会計別決算◆

()は、23年度の決算額です。

(百万円)

●ガス事業●

(百万円)

●病院事業●

(百万円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	
一般会計	13,540(14,295)	12,928(13,650)	
特別会計	国民健康保険	5,851(5,515)	5,728(5,359)
	後期高齢者医療	376(357)	375(351)
	土地取得事業	1(151)	1(150)
	公共下水道事業	1,105(1,370)	1,072(1,340)
	農業集落排水事業	146(145)	135(142)
	介護保険	3,284(2,989)	3,216(2,920)
	介護サービス事業	19(18)	17(17)
	土地区画整理事業	335(241)	208(158)
	合計	24,657(25,081)	23,680(24,087)

区分	決算額
ガス事業収益	684 (687)
ガス事業費用	651 (668)
資本的収入	23 (2)
資本的支出	120 (122)

区分	決算額
病院事業収益	2,225 (2,142)
病院事業費用	2,187 (2,179)
資本的収入	98 (74)
資本的支出	163 (123)

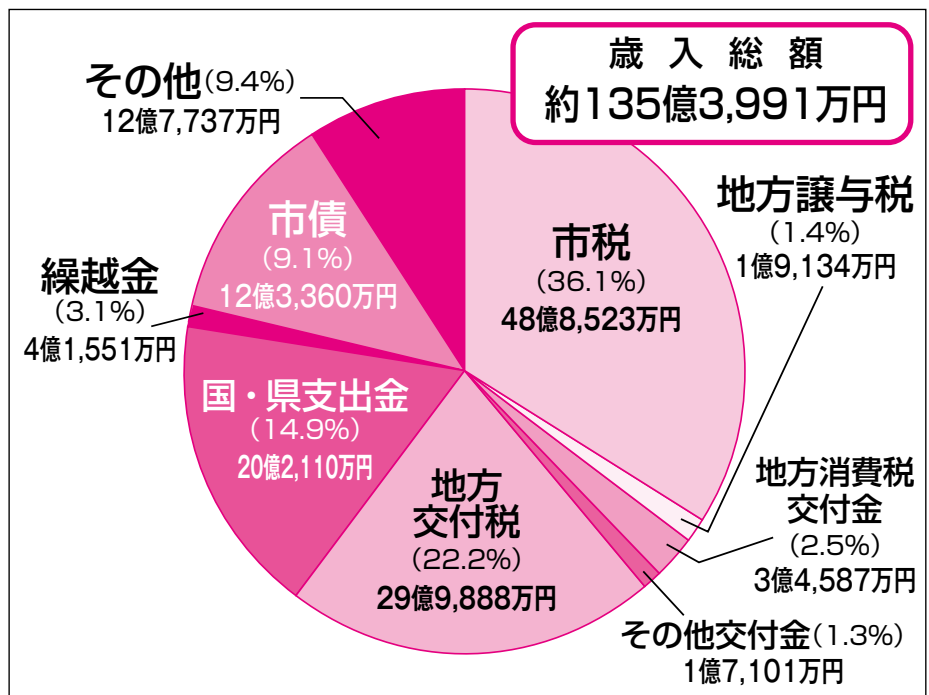
※合計に合わせて一部の会計において切上げ・切捨ての処理を行っています。

平成24年度の会計の数は、昨年度と同様に一般会計と8つの特別会計の9会計で、歳入決算額246億5,742万円、歳出決算額236億8,019万円となりました。市制施行という記念すべき年度となり、一般会計の決算額には市制施行のための準備経費や1月から3月までの市制経費が含まれています。この他、耐震改修事業(白里小学校など)をはじめとした大規模事業も実施しましたが、歳出決算規模では、前年度に大網小学校移転改築事業のほとんどが完了したことから、前年度に比べ減額となっています。また、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計は、給付費が依然として伸び続けているため引き続き増額となっています。

この他、国の緊急経済対策を受けて平成24年度に前倒して予算計上を行った大網中学校及び白里中学校の耐震改修事業や道路の舗装補修事業など、一般会計をはじめ、2つの特別会計とガス事業会計で、約8億1,900万円の事業費について平成25年度へ予算を繰越しています。

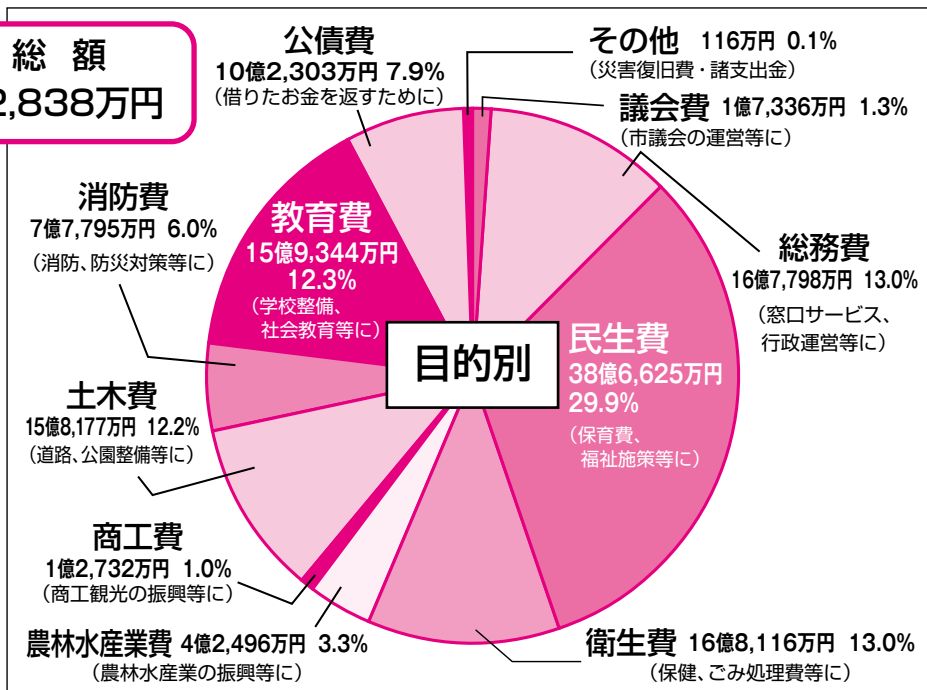
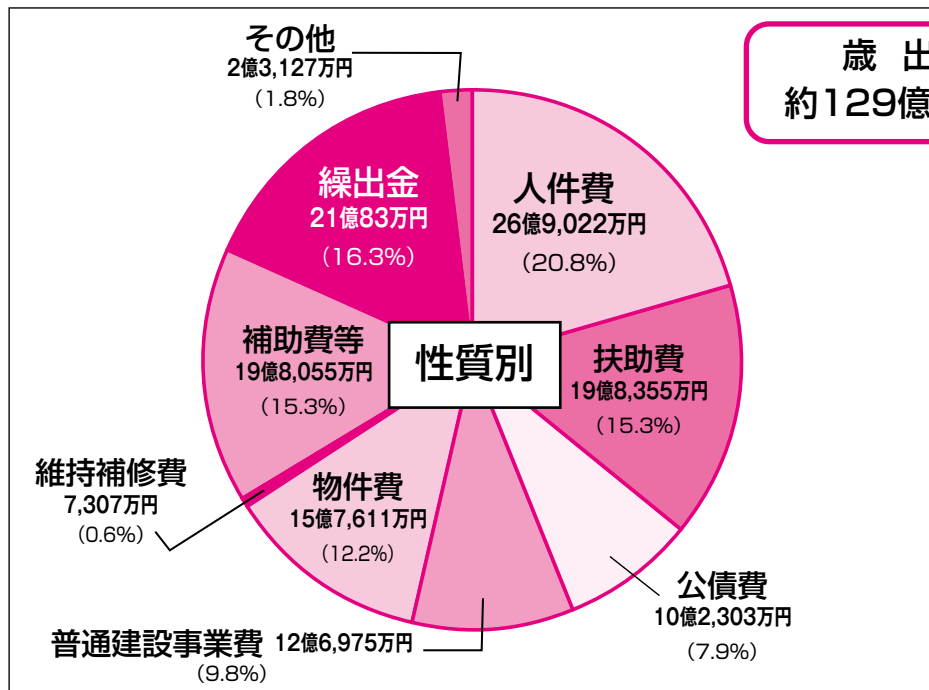
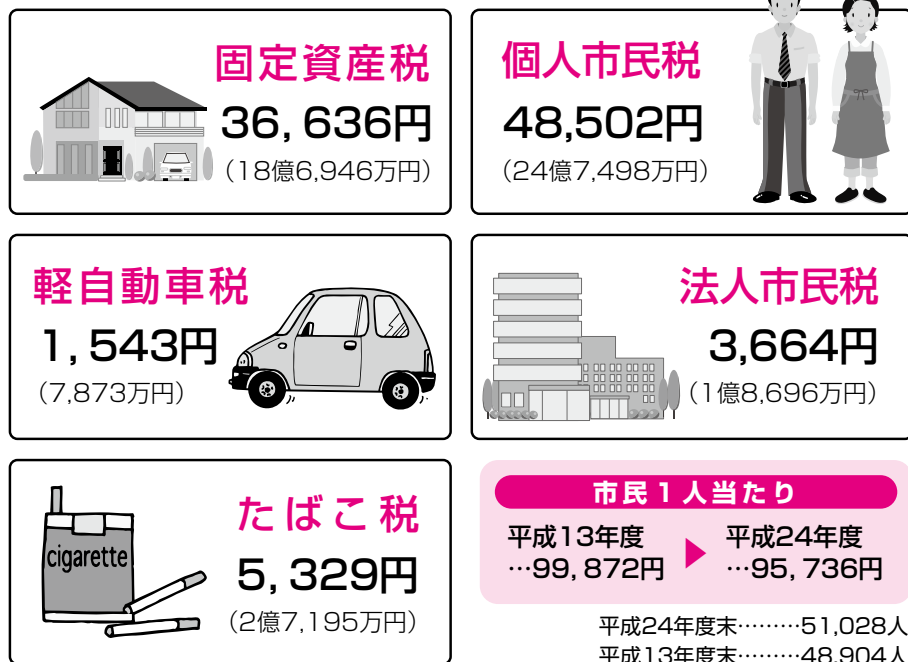
◆一般会計◆

一般会計の内訳



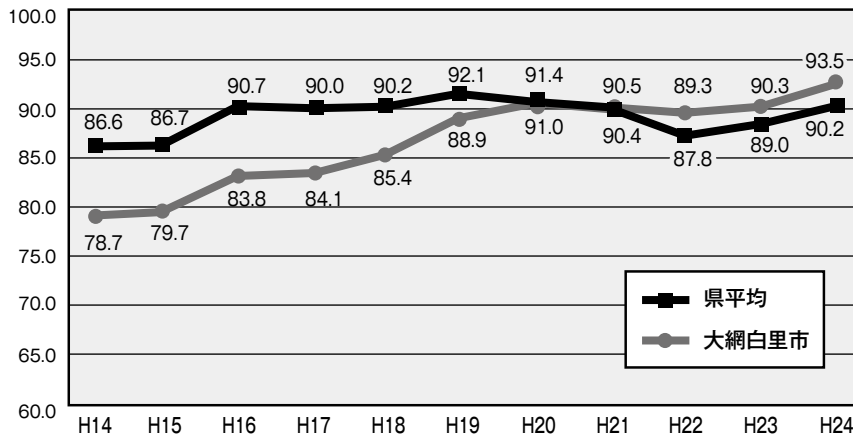
市民1人当たりの市税負担額

※()内は各税目ごとの決算額



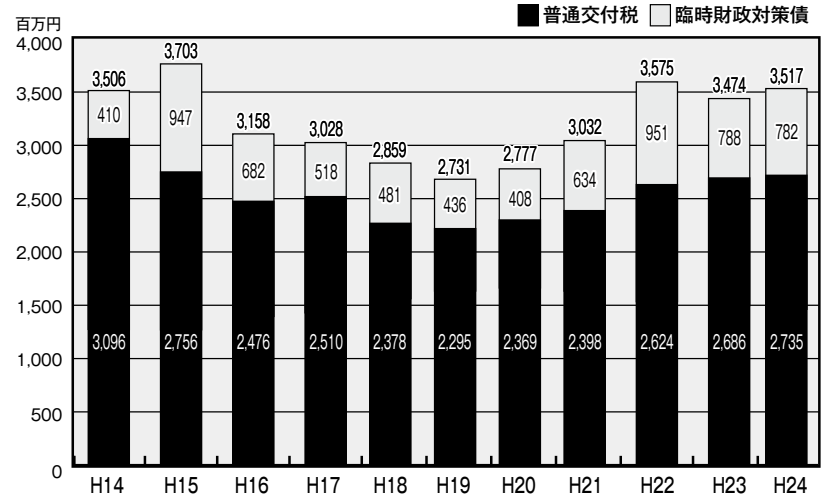
..... 経常収支比率の推移(普通会計)

経常収支比率とは、毎年固定的に支出される経費に充てられた一般財源の割合を示す指標で、この比率が高いほど財政運営上の自由度が低くなると言われています。平成24年度は、経常一般財源となる市税等の減少と生活保護給付費等の経常的経費の増加が重なり、経常収支比率が93.5%となりました。(3.2%増)



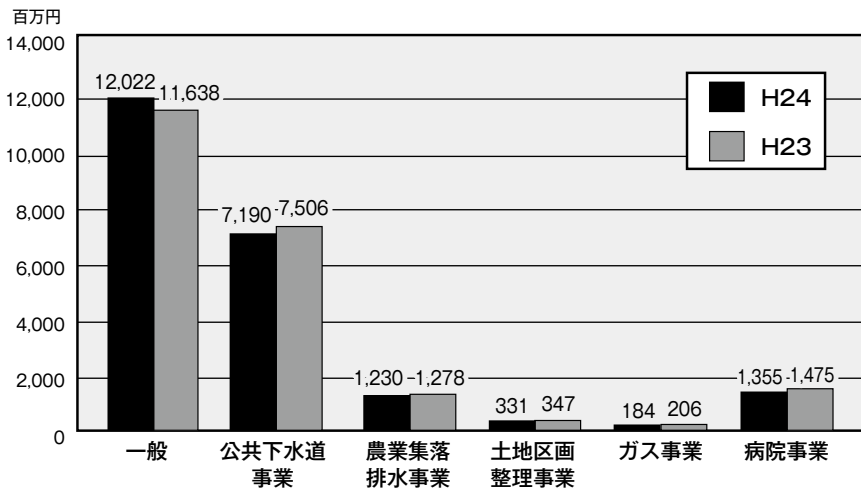
..... 普通交付税等の推移

平成24年度の普通交付税は、臨時財政対策債(制度上、普通交付税の一部を市債に振り替えたもの)を加えた実質的な額で、35億1千7百万円となりました。普通交付税は5年連続で増額、臨時財政対策債は前年度並みの結果となりました。



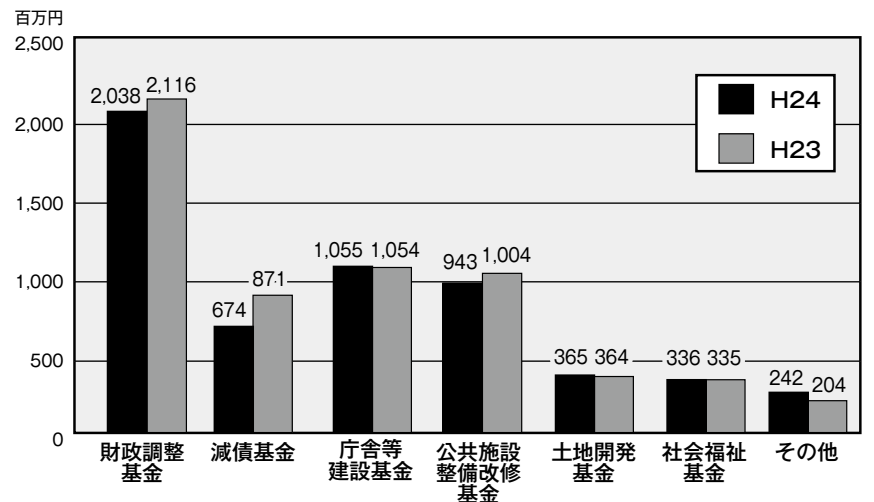
..... 借入金残高の状況(全会計)

平成24年度末の借入金残高は、全会計合計で約223億1,161万円となり、前年度と比べ、約1億3千9百万円の減額となりました。これは大網小学校移転改築事業の完了により平成24年度の借入額が減少し、返済額を下回ったためです。



..... 基金現在高の状況(全会計)

平成24年度末の基金現在高は、約56億5千3百万円です。平成23年度末と比較すると、各基金の合計で約2億9千5百万円の減額となりました。これは、当年度に予定した建設事業費や地方債の返済に充てたことによるものです。



◆平成25年度一般会計・特別会計上半期収支状況◆

(千円、%)

会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率	
一般会計	14,546,455	6,477,407	44.5	5,533,182	38.0	
特別会計	国民健康保険	6,003,136	2,211,939	36.8	2,175,761	36.2
	後期高齢者医療	391,337	136,755	34.9	84,462	21.6
	土地取得事業	19,760	508	2.6	0	0.0
	公共下水道事業	2,113,063	555,610	26.3	850,098	40.2
	農業集落排水事業	143,522	21,418	14.9	63,382	44.2
	介護保険	3,457,066	1,377,558	39.8	1,363,334	39.4
	介護サービス事業	17,701	5,873	33.2	7,084	40.0
	土地区画整理事業	381,264	127,528	33.4	65,005	17.0

◆平成25年度公営企業の状況(8月31日現在)◆

◎ガス事業

区分	8月	8月末累計
調定戸数	11,148戸	55,693戸
販売量	324,140m ³	2,660,090m ³
平均使用量	29.1m ³	47.8m ³
平均売上額	2,706円	4,061円

科目	予算現額(千円)	収入・支出済額(千円)	収入・執行率(%)
ガス事業収益	678,290	244,578	36.1
ガス事業費用	667,925	179,181	26.8

◎病院事業 ※8月末累計

区分	患者数(8月末累計)	1日平均患者数(※)
入院	11,832人	77.3人
外来	31,641人	298.5人

科目	予算現額(千円)	収入・支出済額(千円)	収入・執行率(%)
病院事業収益	2,251,471	709,491	31.5
病院事業費用	2,222,246	789,864	35.5

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、平成24年度決算に基づく「健全化判断比率」を算定したところ、**いずれの指標におきましても早期健全化基準を下回る数値となりました。**

- (1)実質赤字比率.....一般会計等の実質赤字の標準財政規模(※)に対する比率
- (2)連結実質赤字比率...全ての会計の実質赤字の標準財政規模に対する比率
- (3)実質公債費比率.....公債費及び公債費に準じた経費の標準財政規模に対する比率
- (4)将来負担比率.....一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

※標準財政規模.....地方公共団体が通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を表すものです。

また、公営企業会計における「資金不足比率」を算定したところ、**資金不足の発生した公営企業はありませんでした。**

◆平成24年度決算に基づく健全化判断比率◆

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
大網白里市比率	- (-)	- (-)	11.1% (11.5%)	55.4% (54.7%)
参考	早期健全化基準	13.49%	18.49%	25.0%
	財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%

●実質赤字額、連結実質赤字額は発生していないので、「-」と記載 ●()内は前年度数値
●参考の「早期健全化基準」と「財政再生基準」は国の定める基準であり、各指標のいずれか1つでも基準を上回ると、国の監視のもとで財政健全化や財政再生に向けて計画的に取り組まなければならない、事実上、予算が制限されます。

◆平成24年度決算に基づく資金不足比率◆

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準	備考
ガス事業会計	- (-)	20.0%	剰余額 580,579千円
病院事業会計	- (-)	20.0%	剰余額 354,515千円
公共下水道事業特別会計	- (-)	20.0%	実質収支額 30,524千円
農業集落排水事業特別会計	- (-)	20.0%	実質収支額 11,588千円

●資金不足額は発生していないので、「-」と記載

●()内は前年度数値

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$